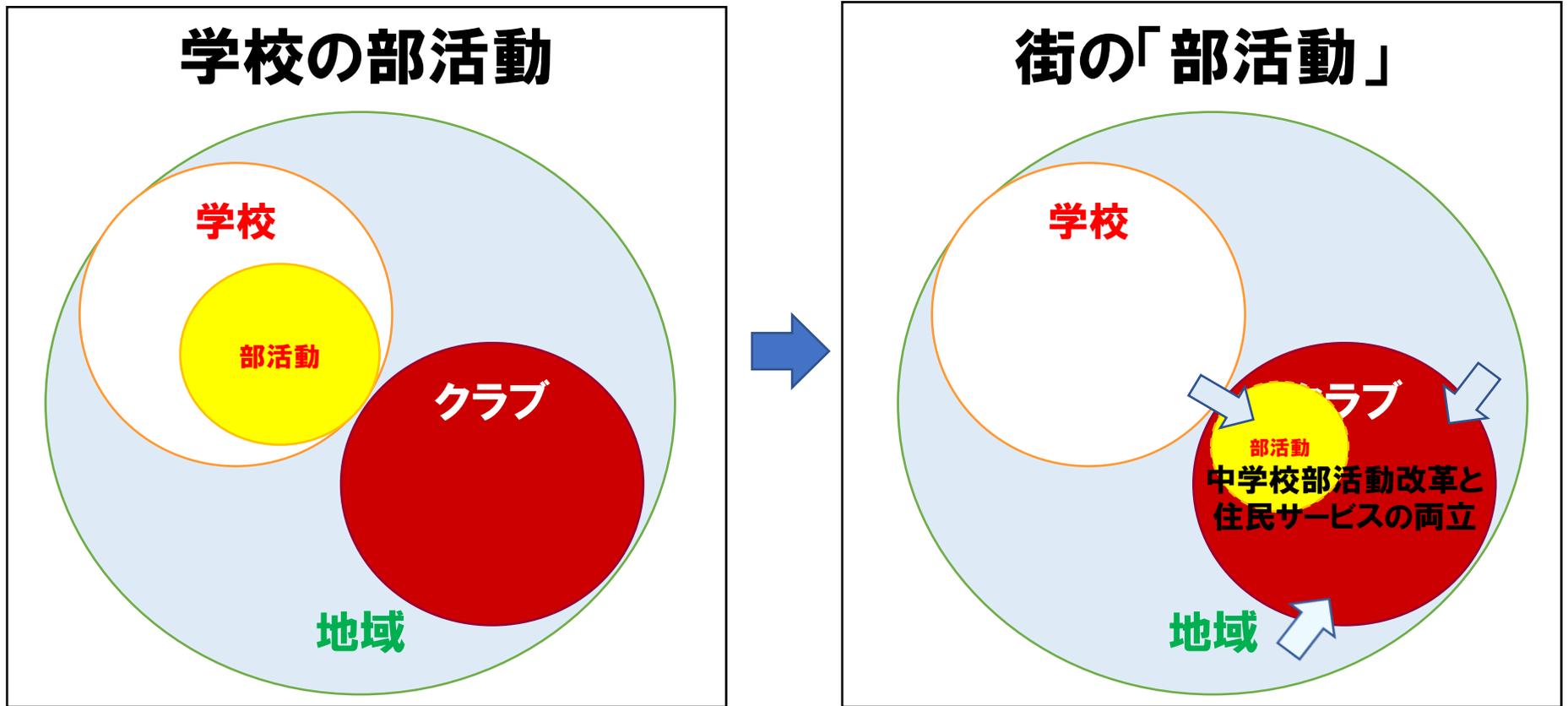


ソシオ成岩スポーツクラブの取組
～生涯スポーツ環境としての街の「部活動」へ～

N P O 法人ソシオ成岩（ならわ）スポーツクラブ

2020 / 11 / 17

学校の部活動から街の「部活動」へ



「地域の子どもたちを地域ぐるみで育てる！」

コミュニティ・スクールクラブ

クラブ設立の経緯

- 1 1995年、学校が主導し、成岩地区少年を守る会を母体に「成岩スポーツタウン構想」を提唱。学校週5日制を視野に、学校と地域が連携し、小中学生のスポーツ活動を総合的に支える事業体として1996年にクラブを設立。
- 2 学校は週末の部活動を休止し、クラブが土日の活動を希望する子どもたちの受け皿となった。
- 3 2002年法人化、2003年12月クラブハウスの完成（管理運営受託）

設立当時のクラブハウス（成岩中学校の空き教室）



ソシオ成岩スポーツクラブの特徴①

➤ ソシオ（協賛会員）が支えるクラブ運営

地域住民の13%にあたる約2,900名のソシオ（協賛会員）が持ち寄る協賛会費が財政基盤

53名のボランティアアシスタント

➤ 全ての子どもたちの活動機会を保障する制度

恵まれない家庭へのクラブ扶助制度
(要保護・準要保護家庭に対する会費の全額扶助)

➤ 小中学生の多様なニーズに応える取組

中学校部活動にない種目も実施

- ・ 陸上、硬式テニス、チアリーディング、ホッケー

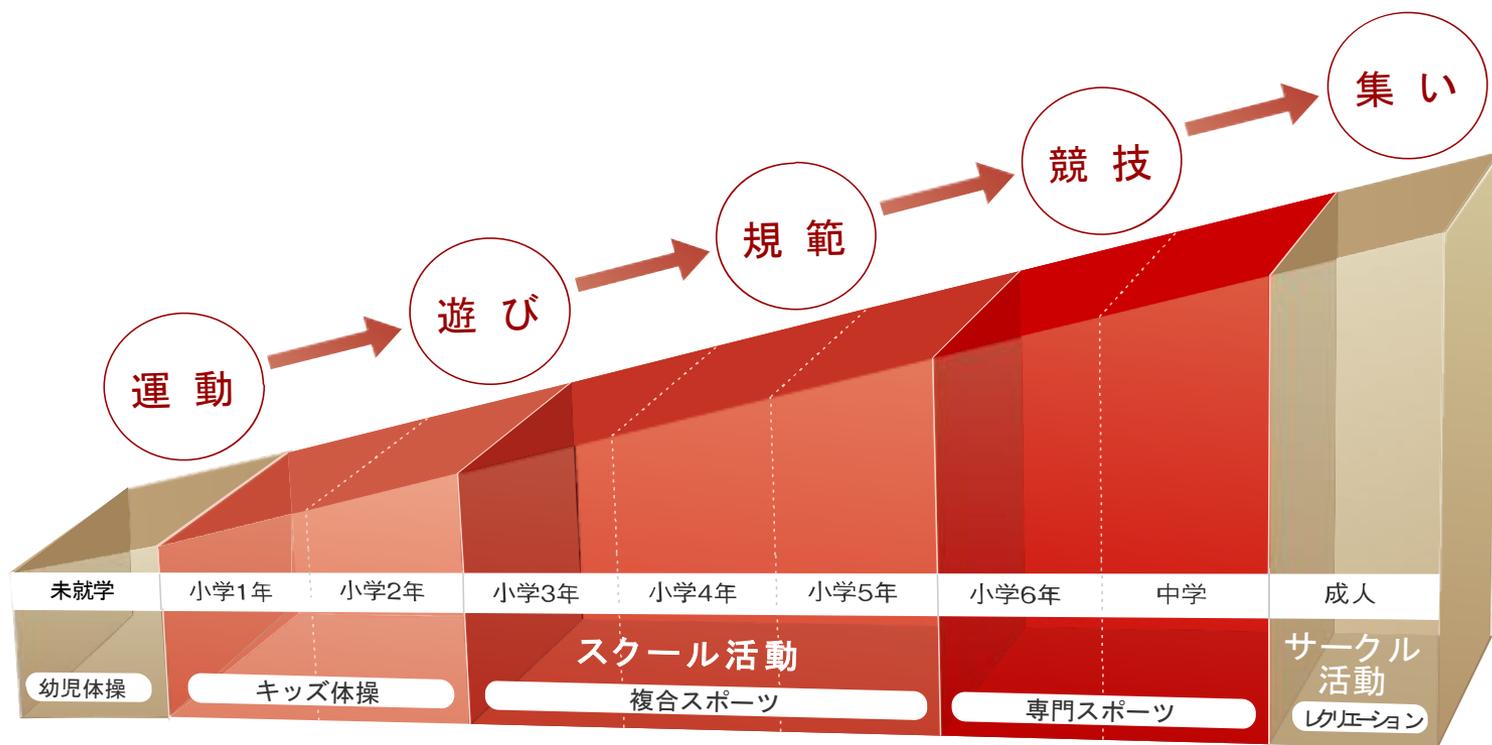
アスリートによる質の高いプログラムの実施

- ・ バスケットボール、バレーボール、硬式テニス、ホッケー等



ソシオ成岩スポーツクラブの特徴③

➤ 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現



クラブで育った子どもたちが大人となり、
指導者として戻ってくるという好循環が生まれている。

ソシオ成岩スポーツクラブの特徴④

➤ 地域課題の解決を目的として子育て支援や子どもたちのキャリア教育に関する取組

子育て支援

- ・ 放課後スクール
- ・ 幼児体操

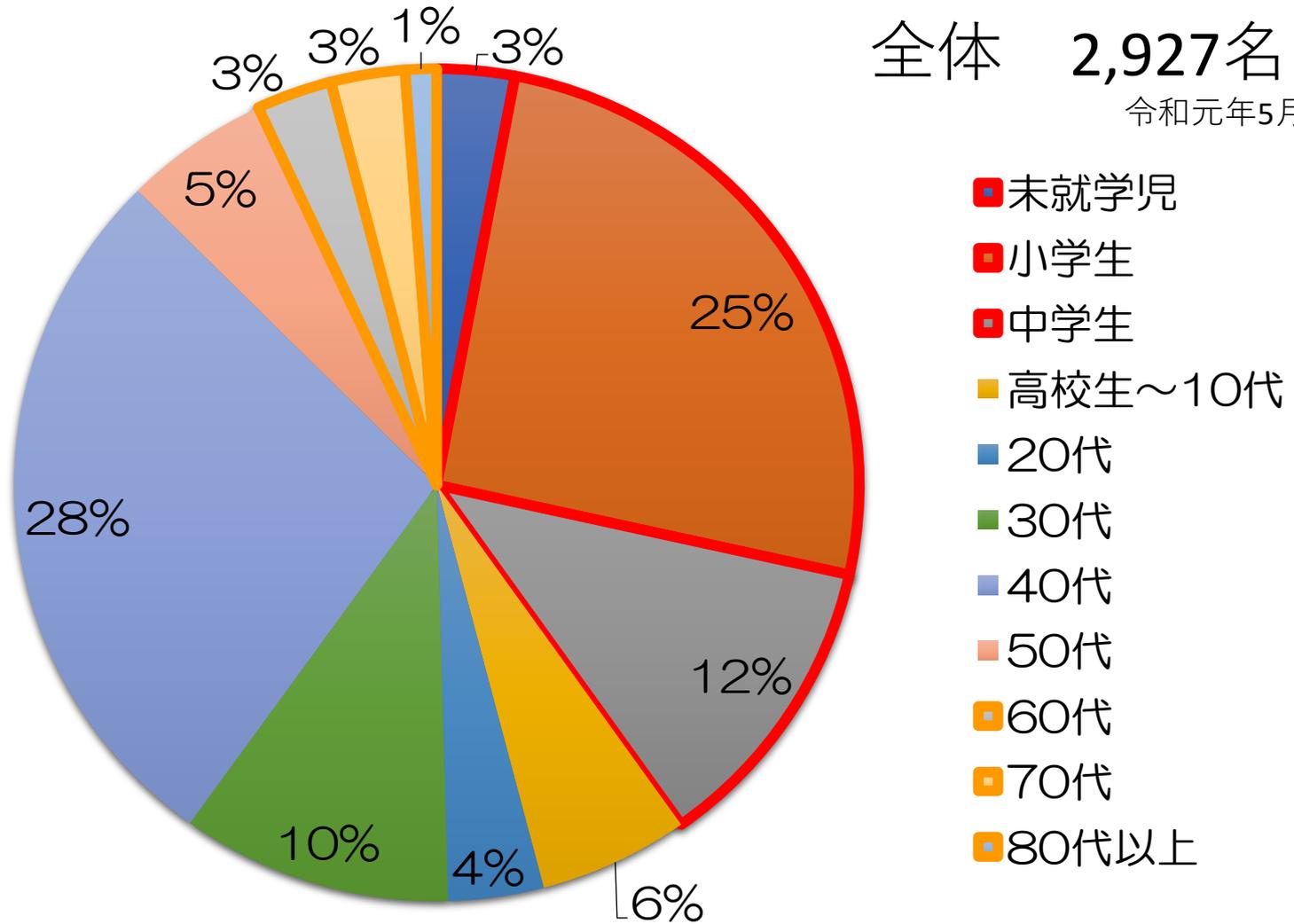
キャリア教育

- ・ 職場体験受入
- ・ スタッフ派遣

クラブの
社会的価値の向上

年代別ソシオ会員比率

全体 2,927名
令和元年5月



クラブハウス建設の経緯

- 1 地域の要望により、中学校体育館の建て替えに際し、**学校と地域との共同利用**を前提としたクラブハウス（社会体育施設）を半田市が整備

半田市成岩地区総合型地域スポーツクラブハウス
(2003年12月竣工)



クラブが指定管理者

住民サービスの向上

施設利用者 166,796人（令和元年度実績）



クラブハウスの特徴

①クラブハウスとしての運用

- 常時、クラブがプログラムを展開する
- 多世代にわたる地域コミュニティの空間となる

②貸館なし・利用料金制度

- 占有利用を廃し、家族、子どもたちが個人でいつでも使える
- 1回：大人720円、小人：308円、**ソシオの利用分はクラブが負担**

③学校との共同利用施設

- 複合化により効率的な利用が行われている
- 地域と学校との距離感を縮め、児童生徒を身近に感じる

新しい部活動の在り方

地域化した部活動の実施主体を総合型クラブが担い、
地域・学校・行政が連携し、
併せて多世代にわたる住民スポーツサービスの
充実を図る。

学校と連携し、拠点とする
コミュニティ・スクールクラブへ